

施策番号	2604		
施策名	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実		
概要	地震や水害等の被害を最小限に抑えるために、消防団，自主防災組織等の災害対応力を向上させるとともに，防災危機管理体制の充実を図る。		
担当局・部室	消防局・安全救急部	共管局・部室	行財政局・防災危機管理室
上位政策	26 消防・防災		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市地域防災計画，京都市国民保護計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		25年度	26年度	27年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	防火防災教育訓練への参加者数(延べ人数)(人)	c	c	361,009	406,584	417,524	97.4%	b	1.00
2	避難所運営マニュアル作成済み避難所数(箇所)	b	c	117	241	238	101.3%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	c	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	防災意識の向上とともに，地域ぐるみの災害対応力が高まっている。	56 11.0%	189 37.1%	191 37.5%	43 8.4%	31 6.1%	510	b
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					26 年度	C
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 消防・防災施策については、市民にとって平常時には実感を得にくいものであることから、客観指標を重視する。							
(原因分析) 【客観指標】●防火防災教育訓練への参加者数に関しては、京都市市民防災センターのリニューアルに伴う広報及びきめの細かい体験プログラムやイベント等を実施した結果、来館者数の増加につながったことなどにより、c→b評価と改善した。 ●避難所運営マニュアル作成済み避難所数に関しては、平成26年度に全避難所でのマニュアル作成という目標を達成したため、c→a評価と大きく改善した。 【市民の実感】地域ぐるみの災害対応力については、東日本大震災の教訓や近年の豪雨による被害の経験を踏まえた取組等により、市民の防災意識が一定の水準で維持されていると考えられ、b→b評価と安定している。						25 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	防災危機管理対策	363,331	412,368	かなり良い	行財政局
2	災害用備蓄物資整備	115,391	121,103	良い	行財政局
3	福祉避難所運営支援事業	5,501	5,501	良い	保健福祉局
4	地域における見守り活動促進事業	11,278	14,367	普通	保健福祉局
5	消防団管理	720,426	695,731	普通	消防局
6	消防団活動	266,905	379,350	普通	消防局
7	消防団運営	93,143	83,843	普通	消防局
8	自主防災組織の災害対応力の充実	1,369,336	1,362,997	良い	消防局
9	京都市市民防災センター	155,108	163,609	—	消防局
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 市民防災センターにおいては、今後更に各種イベントの充実を図るとともに、社会情勢に合わせたタイムリーな防火・防災情報をリアルタイムで発信することを検討する。
- 更なる地域防災力の向上のため、新たに今年度から自主防災会における防災行動マニュアルの策定について促進を図る。
- 新たに避難所に指定された箇所において、順次、避難所運営マニュアルの策定を進める。

施策名	2604	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実					
指標名	防火防災教育訓練への参加者数（延べ人数）（人）						
担当課	安全救急部市民安全課		連絡先	2 1 2－6 6 9 2			
1 指標の説明							
消防局が実施する防火・防災教育訓練（防火管理・防災管理講習、普通救命・上級救命講習、広報を除く）への参加者数（京都市市民防災センター利用者数を含む。）							
2 指標の意味							
市民の防災意識の高さを示す指標				3 算出方法・出典等			
				算出方法：防火・防災教育訓練への参加者数（京都市市民防災センター利用者数を含む。） 出典：事業担当課調べ			
4 数値							
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	361,009	406,584	45,575人増	417,524	年齢別推計人口から5歳以下及び防火安全指導対象者を除いた人口の1/3の数	97.4%	
	全国順位	中長期目標				備考	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値							
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満				6 基準説明			
				・目標値を達成すればa評価 ・以下10%刻みでb～e評価			
7 評価結果							
25		26		27			
c		c		b			

指標名	避難所運営マニュアル作成済み避難所数(箇所)					
担当課	防災危機管理室		連絡先	2 1 2－6 7 9 2		
1 指標の説明						
災害時、避難所を迅速かつ円滑に開設・運営するために必要な避難所運営マニュアルを作成済みである避難所数						
2 指標の意味						
市民の災害対応力の高さを示す指標				3 算出方法・出典等		
				算出方法：各区役所・支所調べ		
4 数値						
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	117	241	124箇所増	238	平成32年度の目標値（431箇所）を達成するために、当該年度達成すべき数値	101.3%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満				6 基準説明		
				・目標値を達成すればa評価 ・以下20%刻みでb～e評価		
7 評価結果						
25		26		27		
b		c		a		